

生涯学習ガイドに掲載している情報をまず知ってもらい、興味を持ってもらうための策を掘り下げて考える

※必要に応じて回答欄の行を追加してください。逆に、記載しない行は削除または空欄のままで構いません。

1. 「富士見市生涯学習ガイドブック」という冊子の名称や、「事業」等の用語について変更案を記載してください。

変更すべき対象	変更後の名称	変更の意図・理由	
冊子の名称	たのしく つながり まなぼう-富士見市生涯学習ガイド-	現状の名称ではかたい印象を与えるので、ガイドの目標をわかりやすい言葉で表現する。	関野
冊子の名称	(名称変更しない)	・冊子の名称から想起させる内容を誤解させるようなことを起こしてしまうとすれば、行政の発行物として不適切ではないか、と思うため。 ・冊子の名称を如何に変えようとも、興味のない人は手に取らない／読まないのではないか。 ・市民に媚びないまでも少しでも距離感を縮めるために、印象を変えうる副題を添える、という方法は採り得るのではないかと思う。	渡邊
冊子の名称	「生涯学習コンパス」	「コンパス」は方向性を示すツールであり、学習者が自分の進むべき方向を見つける助けとなるものだと思わせられるものではないかと考えたため。	渡邊
冊子の名称	「～学びと出会いの扉～」(副題として)	「扉」という言葉は、新しい世界や機会への入口を想起させ、参加・実行を促すため。	渡邊
冊子の名称	人生100年時代の学びと趣味と交流の手引き	サブタイトルに「富士見市生涯学習ガイドブック」と付ける。機能・用途をタイトルで正確にいう必要はない。興味関心を持ってもらい、読んでもらうことが一番の目的。	本田
冊子の名称	富士見市「生き生き、学び」情報誌	現在の名前「生涯学習ガイド」は少し堅苦しく分かりづらい	戸田
冊子の名称	じぶん時間 ～自由・自己実現・つながり、富士見市生涯学習ガイドブック～	https://www.projectdesign.jp/articles/82be73db-63e2-4ca9-987b-f2f503f90b60 	小栗
冊子の名称	豊かに暮らすヒント集～生涯学習ガイド～	漢字とカタカナだけだとかた苦しい感じがするので、少し柔らかい表現に。何かを探している人の手助けになりたいという気持ちを込めて。	秋元
冊子の名称	ふじみ学習ガイド (フジミ学習ガイド)		八木橋
冊子の名称	ふじみ学べるガイドブック (学びのガイド)		八木橋
冊子の名称	はじめるガイド	何かを「はじめる」ことが学びにつながっていくから。	深瀬
冊子の名称	はじめかたガイド	何かを「はじめる」方法を具体的に示したガイドですよ、という意図。	深瀬
冊子の名称	つながるガイド	ひとと「つながる」ことが学びにつながっていくから。	深瀬
冊子の名称	つながる！はじめかたガイド	何かを「はじめる」ということは、ひとと「つながる」ことにほかならないから。	深瀬
	★補足説明：「はじめる」ということについて	・「学ぶ」「学習」ということばは押しつけがましく感じ、避けたいと感じる人もいる。「はじめる」ということばはアクティブでポジティブな印象を与えるし、はじめることは「学ぶ」ことにほかならない。 ・なにごととも「はじめる」時がいちばんたいへん。でも、誰かの手助けがあって何とかはじめることができ、軌道にのせられれば、そのあとは手助けをあまり必要とせずに継続できることが多い。 ・「なにかを はじめよう、自分の未来を変えようと一歩踏み出すあなたを、このまちは応援しているし、その気持ちを尊重しますよ」という行政としてのメッセージとして打ち出していくことが大切だと思う。同時に行政側がそのようなあたたかい気持ちを持って事業や住民にあたるべき、という自らの行動の戒めにもなる。 ※住民、行政がともに学びあい、支えあうことで、関係性が生まれ、継続し、よいまちに発展していくというイメージを、「はじめる」ということばを象徴的につかって、まち全体で共有したい。	深瀬
事業	プログラム	「事業」を用いること自体を否定しないが、広く参加を促す対象で、個々の施策を言い表そうということではないとすれば、参加可能なものとしてイメージさせやすいのではないか。	渡邊
事業・講座等、イベント・交流会	講座・イベント・交流会 相談窓口	「事業」は利用者向けの言葉ではないので別の言葉に置き換える。「相談窓口」でカバーできているか？講座とイベント・交流会の境界が分かりづらいため、同じ分類にする。	本田

2. 生涯学習ガイドについて、利用者が興味ある情報を見つけやすい分類や整理の仕方を記載してください。

①最終ページに掲載されている「生涯学習関連施設等」を巻頭に持ってきて、最初のアクセスポイントであることを明確にする。施設の選定や配列の順番を考慮する。 ②簡易製本をやめて外観を向上させる ③文字のポイント数をそろえ読みやすくする	関野
改めて、のR6の「生涯学習ガイド」の見出しをみると、子ども、家族、高齢者に偏っているな、という印象を受ける。対象者を限定してしまうことによる弊害も考慮したい。 たとえば、「セバタクローをやってみたいのに小学生向けに限定されていた、、、」といって断念する人もいると思う。地域の小学生と交流しながら、セバタクローをしたいという動機があるひとがいれば、担い手となってくれるかもしれないのに、対象を絞ってしまうのはもったいない。分類する前に、対象者の見直しをする必要がありそう。 ※事業の対象者を設定しないといけないという行政側の事情は理解できるが、それはあくまでも事業の予算などを執行する対象なのであって、参加者の対象を限定する理由にはならないのではないのではないか？市民と行政の協働や、ダイバーシティ・アンド・インクルージョンの実現を考慮すると、対象者を絞るのはおかしい。（行政は、多様な人が交流・協働する機会や場所を提供すべき）。	深瀬
講座なのかイベントなのかははっきりしないものがある。たとえば、社会科展や資料館の企画展などは申し込み不要なので、講座ではなくイベントでは？ 「子育てサロン」など申し込み不要で参加できる集まりは「コミュニティ」と分類しては？ また、「事業」という概念は伝わりにくく、補足説明が必要。 次項の3.で項目としてあげている「講座」「イベント」「サークル」「コミュニティ」といった分類のほか、今のガイドに記載のある「講師派遣（市民人材バンク）」「講師派遣（出前講座）」、「施設」という分類が必要だと思います。既存項目のほか、「ボランティア」も追加したほうがいいです。 ※「ガイド」の見出し（目次）としては、次項の3.の左側の欄に記載の項目（【補足説明】の項目をのぞく）がよいと思います。	
（１）多くの利用者にとって共通認識として持ちうる「よくある分類方法」を採用すべきではないか。 ① テーマ別分類： 例として、「言語学習」、「音楽」、「美術」、「文学」、「歴史」など → ウェブサイトを掲載・検索媒体とするのなら、掲載情報をもとに、もう一段階細分化した検索インデックスも設けられると、さらによいのではないか。 （例として、「言語学習」であれば、「会話」中心なのか「読解」中心なのか、「英語」なのか「スペイン語」なのか 等） ② 活動実施日・時間帯別分類： 活動実施頻度や「曜日」、時間帯（午前・午後・夜間）などが分かるように。 → 活動に参加できる曜日や時間帯から探して、そこから興味を持ってそうな／参加できそうなものを探すということもあり得るのではないか。 ③ 活動地域別分類： 富士見市内の「どこ」で／どこを拠点に活動しているのかが分かるように。 → 「行ける／通える」地域で探して、そこから興味を持ってそうなものを探すということもあり得るのではないか。 （例：「ふじみ野」、「水谷」、「南畑」…） ④ 活動スタイル別分類： どのような参加の仕方・関わり方となるのかが分かるように。 → 成果発表型（例：展覧会への出展に向けて活動）、グループワーク・コミュニティ学習型、ボランティア活動型（例：点訳・音訳サークル）等	渡邊
（２）参加する側にとって、迎える側の実態やホンネが分かる情報が分類のひとつに設けられていてもよいのではないか。（ミスマッチを避けるため） ① 活動の程度レベル（あくまでも迎える側が自認・自称するレベル） → 初心者歓迎スタンスなのか、初学者だらけの活動・団体なのか、「教わるレベル」の人を求めているのか、といったことが分かると、門戸をたたきやすいのでは。 ② 活動規模（人数） → 活動規模が少人数なのか大人数なのか、参加検討において重要な情報ではないか。 ③ 新陳代謝の程度 → 参加年数の分布で伝わるのではないか。（例： 5年以上●人、5年未満～3年以上●人、3年未満●人（うち、1年未満●人）みたいな）	渡邊
「施設」「サークル・団体情報」は今のままでよいが、詳細情報の場所をはっきり分かりやすく冒頭に書く。 「一般向けガイド」と「育児・親子・青少年向けガイド」は統合して、同じ情報を検索の仕方別にいくつかのスライスで表示する。	本田
①利用者・対象者別、②テーマ別（学び、交流、運動・スポーツ、趣味、その他）、③開催場所別、の順番を入れ替えた3パターンの表示の仕方で載せる。	
・「サークル・団体情報」の場所に市のホームページの公の施設利用団体・サークル団体情報一覧の内容を加える（ページ数の増）。 ・「事業・講座等」「サークル・団体情報」の内容等の項目欄に費用の項目を加え、無料・有料（材料費等）を加える。	戸田
①事業・講座等一覧について 各事業・講座等一覧の前に ・利用者の声を上げながら、一覧に目を通したくなるようなページを用意したい ・「内容」の枠については、もっとニーズを言語化した文章にしたい	内海
「時間」軸で、目次を[対象者：0才から100才くらい]までにする！とか…すいません、なかなか難しいですね🙏	小栗
いろいろな探し方ができるようにする。たとえば、[育児・親子向け]のジャンルで ☆目的別にして、目的からたどり着けるようにしてみる。 育児について相談したい・学びたい、自分の子どもと遊びたい、子どもにも体験させたい、親のリフレッシュ・学び、仲間づくりしたい、あそびの出張してほしい ☆場所別にして、自分の家の近くで何かないかなという人のために、それぞれの場所でどんなことをやっているのか分かるようにして、たどり着けるようにする。 図書館、水子貝塚、難波田城資料館、関沢児童館、諏訪児童館、ふじみ野児童館、鶴瀬公民館、水谷公民館、水谷東公民館、南畑公民館、針ヶ谷コミセン、西交流センター、子ども未来応援センター、キラリふじみ	秋元
HPのことになるが検索方法が分からない方が多くいると思われるので検索方法をもっと分かりやすくする。単語・キーワードで導き出せるように配慮する	八木橋

3. 生涯学習ガイドの冒頭に「ガイドの使い方」を載せるとしたら、どんな内容・項目をどういう形で載せればよいか、記載してください。
※「**どういう形で載せると良いか**」という問いについては、「**表形式**」や「**フローチャート**」、「**対象者別・ニーズ別に整理**」など、**これだ！**と思う形式を具体的に書いてください。

どんな内容・項目を	どういう形で載せるとよいか	
①まず公民館などの施設へ行くことを勧める	それらの施設が「たのしく つながり まなぼう」を実現する場所であることを、簡潔な文章で伝える。	関野
②ガイドやウェブの使い方を説明する	冊子体の使い方を簡潔に説明するとともに、ウェブの使い方も説明する。	関野
・左側の欄は「ガイドの使い方」の見出しのイメージ ・右側の欄は、項目ごとの記載内容のイメージ ※見出しとガイド全体の構成が一致するイメージ ※「★」を付した箇所は注記 ※ふわっぴーが語っているイメージ はじめに	何かをやってみたくなった時が、はじめるタイミング。 どうやってはじめるかは、人それぞれ。 あなたが何かをはじめるのを、このガイドがサポートしてくれるかもしれない。 もちろん、このガイドにのっていないことであっても、何かをはじめるというのは尊いこと。 このガイドに掲載されていない、行政が関わっていないものも数多くあるよ。 自分でいろいろと情報収集をして、何かをはじめてみよう！	深瀬
講座ではじめる	このガイドには、何月頃にどの講座が開講されるかが書いてあるよ。 その何ヶ月か前に広報で案内されるので、普段から広報をチェックするのが大切。 講座開催の知らせを目にしたら、すぐに申し込んでね。 定員に達したり、申込み締切日を過ぎてしまわないように、手帳やスマホを活用して申し込みを忘れないようにしよう。	深瀬
イベントではじめる	このガイドには、何月頃にどんなイベントが開催されるかが書いてあるよ。 開催場所や日程などの詳細は、広報に案内されるので、普段から広報をチェックするのが大切。 定員やしめきりがある場合もあるので、その場合は「講座」同様に申し込みを忘れないようにしよう。 イベントに行くと得られる情報は結構あるし、いろいろなひとと知り合えるチャンスになるかもしれないよ。 まちの人たちの雰囲気も感じられるので、気軽に行ってみるといいよ。	深瀬
サークルではじめる	このガイドには、すべてのサークルを詳細には紹介していないので、公民館の職員（ナビゲーター）に聞くのがおすすめ。 公民館ごとに「公民館だより」が、交流センターごとに「交流センターだより」といった配布物が毎月発行されるよ。 これらの配布物に、サークルの詳細な案内が掲載されるのでこまめにチェックしよう。 自分の住んでる地域の公民館と交流センターの配布物は、広報などといっしょに各戸に配布されるよ。 ほかの地域の施設の配布物も、各公民館・各交流センターに置いてあるから、そこで入手できるよ。 10月がサークル活動公開月間だから、そのタイミングを利用して、どのような活動なのかのぞいてみるのもいいね。 ★サークル情報は、どのようなサークルがあるのか、団体名や会費も含め、詳細に伝えるべき内容だと思います。	深瀬
コミュニティではじめる	いきなりサークルの会員になるのはちょっと気が引ける、でも誰かと交流したい、話し相手がほしい、申し込みしなくても気軽に立ち寄れるところがあるといいのになというひとには、「コミュニティ」があるよ。 たとえば、高齢者向けのサロンや、子育て世代向けの「子育てサロン」がある。 対象者（年齢や性別など）を決めておらず、多様な人びとが集まるコミュニティもある。 「子育てサロンの雰囲気はちょっと、」というひとは、対象者を決めていないコミュニティに子どもを連れていって、のぞいてみるのもいいかもしれないね。	深瀬
ボランティアではじめる	富士見市にはさまざまなボランティア団体があるよ。自分にあったボランティアが見つくて、どんな活動をしているのかのぞいてみるのもいいかもしれないね。ボランティア活動に興味があるひとは、「富士見市ボランティアセンター」に行ってみるといいよ。 「富士見市ボランティアセンター」は、中央図書館の近くの「ぱれっと」にあるよ。新しくボランティア団体を作りたいというひとと、ここに行くかと相談にのってもらえるよ。	深瀬
仲間とはじめる	気の合った仲間と何かをはじめたい時、場所が必要だね。 このガイドには、富士見市が運営している施設と、その借り方が書いてあるよ。 ★既存のガイドでは、情報が不足気味。 仲間はいるけど、まずは誰かに教えてほしい場合は「市民人材バンク」や「出前講座」で、講師を派遣してもらえるよ。 それから、講座やイベントで出会った人たちと仲間になり、サークルやコミュニティに発展して継続的な活動になることもあるよ。	深瀬
ひとりではじめる	映画や演劇、テレビを見たり、本やコミックを読んだり、ライブに行ったり、釣りに行ったり、買い物に出かけたり、飲み屋にでかけたり、ひとりではできることはたくさんあるよ。 市の施設を活用するなら、図書館や資料館に行ってみたり、体育館のジムで汗を流したり、公園を散歩したりして楽しむこともできるよ。 育児世代なら、子どもを連れて公園や児童館にでかけるのもいいね。 ひとりで楽しむもよし、ひとりで行った先で知り合った人たちと楽しむもよし、だね。 知り合った人とちょっとつながってみたいと思ったら、SNSなどを活用しよう。 何かが変わっていくかもしれないね。	深瀬
【補足説明】「事業」ってなんだろう？	★（生涯学習に関連する）行政の「事業」についてわかりやすく説明する必要があると思います。以下、試みに書いてみるので、認識違いなどあれば、見直したいです。 富士見市が住民に向けて、ある施策の目的達成のために行うサービスのことだよ。ある事業が住民に提供するサービスは、講義のかたちをとったり、イベントのかたちをとったりと、年によって異なることがあるんだ。広報などをチェックして、どんな事業があって、どんなものが開催されるかチェックしてみてね。	深瀬

【補足説明】費用のこと	★費用については概算でもいいので知りたい、というのが普通の感覚だと思います。 市の事業として行っているものについては、開催する内容によって、無料の場合とそうでない場合があるよ。詳細については、広報やウェブサイトを見てみてね。情報が見つからない場合は、問合せ先に問い合わせさせてみてね。 住民が自主運営しているサークル活動やコミュニティについては、サークルごとにかかる費用が異なるよ。各サークルに尋ねてみてね。	深瀬
状況別の目的・要望・関心事・悩み・予見される問い	ページ上、左側に、状況別の目的・要望・関心事・悩み・予見される問いを並べ、右側にそれらに対応する解としての項目名と掲載ページを記載しておき、どこを開けば／参照すればよいかを表す。（目次で足りることかもしれないが、検討の助けになり得るのではないか） （例） すでに活動を始めている方 ・活動資金が足りない → 活動の支援制度（★ページ） ・活動場所が見つからない → 貸出施設利用説明（▲ページ～▼ページ） ・協力し合える仲間がほしい → 登録団体の紹介（●ページ～■ページ） これから活動を始めたいと考えている方 ・退職して時間ができた／育児がひと段落した／地域で何か始めてみたい しかし、一人で活動するのは…／一緒に活動する仲間はいないかな… → 登録団体の紹介（●ページ～■ページ） ○○情報（◆ページ～◎ページ）	渡邊
ガイドの構成、目次的なものそれぞれの概要説明	何がどのように載っているのか全体感をつかむ	本田
ガイドの使い方、活用方法	探し方別に記載（自分の年代や属性から調べる、やりたいことから調べる、近くの場所でやっていることを調べる） それぞれ、①→②→③のように手順を示す	本田
現状のものでよい	「ガイド」の使い方を具体的に見本を示して載せる。（ex）○○について学びたい→○○○講座	戸田
土地勘のない人向けに	市内の公民館とそこに根ざす団体を紹介	小栗
自分がやりたいことがわからない人のために！	自分に合った、自分が必要としていることが分からない人向けに「自分に合った”学び”さがし」YES-NOチャート	小栗

4. 富士見市のホームページの中で生涯学習ガイドとリンクを張るとよいと思われるページとその理由を記載してください。

リンクを張るとよいページ	なぜそのページとリンクを張るとよいか	
富士見市ホームページの生涯学習関連のページ各所	冊子体に掲載できる情報は限られるので、詳細な情報が必要と思われる部分にQRコード等を挿入し、ウェブも参照できるようにする。	関野
「子育て・教育」「観る・楽しむ」「窓口・施設案内」それぞれに	見出し部分が生涯学習に関連しているページだと思われるから	八木橋
個々のイベント実施案内に関するページ	生涯学習に関するイベント(※)実施案内に関するページにおいて、関連情報としてガイドを紹介することで、誘引しやすくなるのではないかと。 ※現在のグローバルナビゲーション（ウェブサイト上部に設けられたメニュー部分）内、「観る・楽しむ」の中に「生涯学習」を項目を設けていることで、訪問者・閲覧者からすると、富士見市が「生涯学習」をイベント中心に捉えているというメッセージになっていないかと。 このことは、題意から離れたことではあるが、市としてその捉え方・位置づけで合っているのか要確認。 （他の「くらし・手続き」、「子育て・教育」、「健康・福祉・医療」のいずれかなのか？というのもイマイチ合致しないが。）	渡邊
イベント・目的別にドリルダウンした1～3階層目の適切なページ	「利用者・対象者別」か「テーマ別（学び、交流、運動・スポーツ、趣味、その他）」の適切な塊をフィットする階層のページにリンクを張る	本田
イベントカレンダー	市が関与するイベントが近日開催のものから時系列に把握できるから。 ※市役所のフロントページのInformationにリンクあり	深瀬
イベントカレンダー	事業・講座等、イベント・交流会の情報は、具体的な日付と結びついていての方が参加や行動に結びつきやすい 双方向性を持たせてどちらからももう一方の情報にアクセスできるようにしておく	本田
イベントカレンダー	富士見市TOP→下の方にあるインフォメーション「イベントカレンダー」。 「内容」「施設」「対象」で探せるので。	小栗
施設マップ	施設が網羅的にリストされているから。施設（外部ページ）へのリンクがあるから。 ※市役所のフロントページのInformationにリンクあり ※「富士見市公共施設予約システム」の対象施設のリストをこのページに整理して、「富士見市公共施設予約システム」のページに飛べるようにしたり、「富士見市公共施設予約システム」のページからこの「予約システム」の対象施設のリストに飛べればよいのにと思いました。	深瀬
図書館をはじめとする市内施設のページ	図書館や文化施設に関するページにおいて関連情報としてガイドを紹介することで、誘引しやすくなるのではないかと。また、施設の利用促進にもつながり得るのではないかと。	渡邊
富士見市公共施設予約システム	施設を予約するために必要だから。 ※市役所のフロントページのInformationにリンクあり	深瀬
富士見市ボランティアセンター	ボランティア活動をするひとに必要な情報だから。 ※社協のページ（https://www.fujimi-shakyo.or.jp/service/service_01/）	深瀬
「サークル・団体情報」と「公の施設利用団体・サークル一覧」	ホームページで生涯学習ガイドを開き、サークル団体情報を調べる。その後、またホームページを開き公の施設利用団体・サークル一覧を開かないと細かい情報は得られず、時間がかかるため	戸田
富士見市ホームページのTOPページ （しかし、本当は「よい」とは思っていない）	・ホームページの訪問者にとって見つけやすいのではないかと。 （しかし、多くの方は「検索結果」を介してガイドにたどりつくはずなので、TOPページにこだわる理由はなく、生涯学習ガイドへのリンクが配置されていることで、そのリンクを目にしたからといって目的もなく読み始める人は皆無に違いない。） ・市としての「本気」具合が伝わるのではないかと。 （本気ではないことを積極的に押し出すことはないはずなので、「それなら見てみようか」という気持ちを想起させるのかもしれない。しかし、市が本気であることを示したからといって、市と市民と関係性は市民をそんな気持ちにさせられるほどのものなのか。）	渡邊

5. 現在の公民館・コミュニティセンター等以外に生涯学習ガイドを置いてもらうとよさそうな場所とその理由を記載してください。

生涯学習ガイドを置いてもらうとよい場所	なぜそこに置いてもらうとよいと思ったか	
市内全ての生涯学習施設	生涯学習に関心のある利用者が集まる場所だから	関野
学校、幼稚園、保育園、図書館、資料館、体育館、老人福祉センター（びん沼荘）、市民福祉活動センター（ぱれっと）、防災館（入間東部地区事務組合消防本部：在ふじみ野市）、リサイクルプラザ利彩館（志木地区衛生組合）	学びに来ている人たちが訪れる場所だから	深瀬
富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ	同施設や同種の施設で開催される演劇や展示に関するリーフレットが常に多数おかれた状態にあり、同施設での鑑賞前後の昂った気持ちの中で「自分も何かやってみたい」という気持ちに振れているのではないかと考えられるため。	渡邊
集会所・交流施設	各種団体・町会等の会合の参加者に興味をもってもらう	関野
市役所の各窓口、その他の各施設、集会所	待たされている間に暇つぶしに読んでもらえる、関連する情報をPOPで示す	本田
市役所（各課）、増進センター等	関連情報を説明し、認知度を高めてもらう。必要に応じてチラシの説明や配布を行う。	戸田
市役所市民課窓口	転入者や証明書が必要な人が訪れる窓口だから	八木橋
高齢者支援課	生涯学習を必要とする、興味がわく年代が訪れる窓口	八木橋
子育て支援課	同上	八木橋
不動産仲介業者・住宅販売業者の店舗	転入者・転入世帯は、積極的に地域の情報を取捨選択している状態にあると考えられ、市・地域に飛び込む初期段階で情報を提供するのには効果的と考えられるため。また、業者側も地域の情報の一つとして提供しうるものとして歓迎してくれるのではないかと。（「この街には〇〇なお店がある」といったことを提供しているくらいなので）	渡邊
銀行、郵便局、医療機関	待たされている間に暇つぶしに読んでもらえる、関連する情報をPOPで示す	本田
医療機関の待合室	利用者の多くは、比較的長時間にわたって留まらざるを得ないことが多く、通信機器の利用制限が課せられている所もあり、何か印刷媒体を手にしたくなる状況におかれているのではないかと考えられるため。	渡邊
医療機関等	待ち時間を情報提供の場として活用する。イベント等の周知（チラシ、ポスターの掲示等含む）	戸田
産婦人科	子どもが生まれると病院などの待合室で何かを読むゆとりがないけれど、生まれる前の産婦人科なら、手にとってもらえるかも。	秋元
献血会場／献血バス	採血中や採血後にその場にとどまる時間があること、また、「何か」に貢献したいという気持ちを持ち合わせている人が多いと考えられるため。特に、ボランティア分野の情報に関しては感度が高く、刺さりやすいのではないかと。	渡邊
富士見市ふるさとハローワーク ※市とハローワーク川越が共同で運営する施設	ハローワークは、失職した人ばかりではなく、現在の仕事に不満があったり、新しいキャリアを探したりしている人や、子育て・介護などで仕事を離れたが再び働きたいという人も訪問・利用する施設だと考えられる。 仕事を探すという目的とともに、職場やコミュニティなどのグループや社会に所属したいという欲求に駆られた状態にあるとも考えられ、生涯学習を通してその欲求を満たせるのではないかと、と気に留めてくれるのではないかと考えられるため。	渡邊
市内の保育園、幼稚園、小・中学校、高校・専門学校等	情報提供の場、イベント等の周知（チラシ、ポスターの掲示等）	戸田
学校	子育て世代が情報に触れやすくするため ・就学時健康診断、新入生保護者会等で配付するか、自由に持ち帰ることができるようにする ・日常的に事務室前等に配架する	内海
児童館	対象者がいるので。	小栗
市内の55町会の町会長	町会で年に2回くらいの回覧板に入れてもらいたいですね。QOLを高くするためのヒントがいっぱいです！	小栗

6. 生涯学習ガイドの情報を、どんな対象者に、どういうタイミングや場所で、どういう効果的な方法で案内するのがよいかを記載してください。

観点：①市役所内の別部署の協力を仰ぐ、②既存の郵送物に同封してもらう、③屋外スペースや公共施設内、民間の建物内等に広告物を配置・掲載する、④既存イベントに出店または新規イベントを企画する、⑤ネット上で著名人・インフルエンサー等に発信・拡散してもらう、⑥その他 等

※回答欄に①～⑥と入っていますが、すべての観点を挙げなくて構いません。逆に、一つの観点で数多くの案を挙げていただいても構いません。

観点	どんな対象者に	どういうタイミングや場所で	どういう効果的な方法で案内するか	
①	マスコミ（新聞・テレビ等）	イベント等の発表時	市の広報担当者を通じて記者クラブ等へ案内	関野
①	SNSユーザー	富士見市公式LineやX（広報課）	一枚ぺらのチラシをもとに作った画像データ、Web版「ガイド」へのリンク	深瀬
①	富士見市内への転入者	転入手続きを行う際の市の施設で	市内での生活に必要なとなる情報（ごみの分別・捨て方など）とともに、「ウェルカムパッケージ」のひとつとして情報提供を行う。	渡邊
①	市への新規転入者	転入手続きで来庁時	転入関連書類に、ガイドから必要そうな内容の抜粋版をまとめて入れてもらい、渡してもらう	本田
①	転入者	届出時	市からの案内にチラシとして配布	八木橋
①	妊娠中～未就学児の親	定期検診等、市が提供する公共の何かに参加したときに	子ども未来応援センターなど、定期健診等を主催している市の担当課から、対象者に合ったガイドの内容を抜き出したものを案内してもらう	本田
①	小中学生とその親	年1回など定期的に、またはイベント告知として	学校経由で小中学生とその親に合った内容の情報を、またはイベントチラシ＋関連情報をまとめた資料を作成して配布してもらう	本田
①	一般（来庁者）	窓口対応の時、待ち時間	具体的な説明、チラシの配布、ポスター掲示	戸田
①	訪れた人	ロビー、市民課、健康福祉部各課（健康増進センター、子ども未来応援センター）、共同推進部各課付近、	一枚ぺらのチラシの設置、問合せがあったら生涯学習課に誘導（可能であれば市庁舎での問合せは文化・スポーツ振興課に受付してもらえるとベター） ※一枚ぺらのチラシ（記載内容：①ガイドのはじめにのサマリ ②Web版「ガイド」へのQRコード ③紙媒体版「ガイド」の入手方法）	深瀬
①	市民と直接接する窓口「転入」「保育課」「年金」…など	その個人の「節目」のタイミングで	必要な書類を取りに来た方々に「富士見市の生涯学習」をサクッと説明したペラを入れてもらう	小栗
①	小学校就学時健診	子どもが健診している間の1時間	親向けに、小学校では講演会などを入れている。その時間に、生涯学習課の出前講座をやらせてほしいとアピールする！「地域の中で豊かに暮らすヒント」ということで、 ＊今だから、親子で遊ぼう ＊子どもだけでも安心して遊べるところは？ ＊PTA.育成会行事に役立つ！ ＊子育てのお悩み解決！ ＊近くの公民館でこんな楽しいことが！ そんなところから、「地域の中でつながりながら楽しく暮らそう」というところへ導く出前の講座を作ってほしいです。このテーマなら学校としてもお願いしたくなる内容かと。スクリーンも使って、地域の中に楽しいことがたくさんあることを紹介！わくわくするような紹介を。紹介しきれない分も、QRコードから、見てもらえます！ということで。資料の最後にQRコード(正しくは2次元コード)。冊子は持ち帰れないので、QRコードから冊子にたどり着いてもらえるのがいいです。	秋元

②	全戸	10月号の広報（サークル活動公開月間にあわせて）	一枚ぺらのチラシの折り込み	深瀬
②	全市民	広報誌	全戸配布時	八木橋
②	一般	通知文の送付の時	過去に事業や講座を受講した人を確認し送付する	戸田
②	子育て世代	出産、入学などの郵送物で	一枚ぺらのチラシの同梱	深瀬
②	20歳	20歳式の式典で、または、20歳に関連した市からの書類郵送時に	ガイドの内容の抜粋版（その年代・属性の人の役に立ちそう、興味を持ちそうな内容をパッケージ化したもの）を送付	本田
②	「ブックスタート・パック」のプレゼントを受け取る世帯（対象となるお子さんの保護者）	「ブックスタート・パック」をお届けするとき	送られたものについて、子育てに関して何か有益な情報はないかと、ひととおり目を通そうとする状況にあると考えられ、同梱しておくだけでも十分に効果的ではないか。 ※「ブックスタート」は、絵本をひらく新しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。「12[月児健診]対象のお子さんに、富士見市立図書館が「ブックスタート・パック」のプレゼントを行っています。 「ブックスタート・パック」の内容：絵本（4冊のうち、好きな2冊）、「ブックスタート」のリーフレット、「親子読書記録手帳」、「ブックスタート」のバッグ（布製の手提げ袋）	渡邊
②	40歳、50歳等の定期健診対象年齢者	検診案内送付時に	ガイドの内容の抜粋版（その年代・属性の人の役に立ちそう、興味を持ちそうな内容をパッケージ化したもの）を送付	本田
②	各健康に関するお知らせをお送りする	告知する郵送物を送るタイミングで	「富士見市の生涯学習」をサクッと説明したペラを入れてもらう	小栗
②	高齢者	敬老の日等の案内郵送時に	ガイドの内容の抜粋版（その年代・属性の人の役に立ちそう、興味を持ちそうな内容をパッケージ化したもの）を送付	本田
③	一般市民	随時	市役所の待合所などで流されているビデオ映像に生涯学習関連コンテンツを含める	関野
③	一般	窓口、受付近辺、駅近辺	生涯学習ガイドを設置し、閲覧しやすいようにする チラシの配置、ポスターの掲示	戸田
③	訪れた人	市役所や出張所、警察署、駅などあらゆる公共的な施設	一枚ぺらのチラシの設置	深瀬
③	全市民	公民館・コミュニティセンター	施設内の生涯学習に関する掲示を増やす。各施設1名以上、ナビゲート役を配置して、その方から働きかけて合いそうなものを案内してもらう	本田
③	訪れた人	まちバル期間の対象店で	一枚ぺらのチラシの設置	深瀬
③	訪れた人	書店やスポーツジム、塾、音楽教室、カルチャースクールなどの民間施設	一枚ぺらのチラシの設置	深瀬
③	公共交通機関利用者	バスや駅	ポスターやチラシ	八木橋
③	－	－	広告物に接しうる人々の属性・状況が幅広すぎて、効果的には刺さらないのではないかとされる。（効率が悪いのではないか）	渡邊

④	イベント来場者	イベント会場で	チラシ配布者が一枚べらのチラシ手渡ししてブースに誘導。ノボリのあるブースでナビゲーターが詳細にアリング＆ナビゲーション、希望者に紙媒体版「ガイド」の配布	深瀬
④	地域イベントに参加して、自身も何かできるのではないかとやってみた人	地域イベントの中で（「鉄は熱いうちに打て」を信条に）	生涯学習ガイドを自由にお持ち帰りいただけるように置いておくだけではなく、訪問者の「背中をそっと押してくれる人」として、活動に携わっている人・活動に携わった経験を持つ人が対応できるようにしておく。（ごり押しはしない。あくまでも訪問者から問われた／相談されたときに答えてくれる語り部・賢者のような存在であってほしい。）	渡邊
④	全市民	市が主催・後援するイベント	ガイドの内容の抜粋版（イベントの主対象である年代・属性の人の役に立ちそう、興味を持ちそうな内容をパッケージ化したもの）を配布	本田
④	一般	多くの人々が集まる機会	チラシの配布、放送によるアナウンス	戸田
⑤	イベント来場者	市の大使に協力してもらって、イベント期間に、A. SNS、B. イベント会場で	A. 一枚べらのチラシをもとに作った画像データ、Web版「ガイド」へのリンク B. 一枚べらのチラシ	深瀬
⑤	地域の活動・動向に関心の高い人	地域のオンラインフォーラム上で（例：Facebookグループ）	地域のオンラインフォーラムを主宰している人に、同フォーラム内で、「このようなものがあるよ」と紹介してもらう。主宰者は、同フォーラムのメンバーにとって信頼されている存在であり、そのような人物からの情報は受け入れられやすいと考えられるため。	渡邊
⑤	個人	S N S、講演会等	特定の個人へ直接発信	戸田
⑥	来場者	二十歳式	一枚べらのチラシの会場での配布。市内の先輩の活動紹介。	深瀬
⑥	社会性に関心の高い人	市内で開催される著名人による講演会の中で／講演会場で	ふだん地域の活動に関心が低い人も著名人による講演会が市内で行われるとなれば足を運ぶことが考えられる。一方で、講演を聞きたいと思う人は、得てして社会性に関心の高い人であることが考えられる。その人に向けて、講演会の中で、講演主催団体関係者や講演者に生涯学習ガイドについて触れてもらったら、同ガイドにも関心を持ってもらえる／手に取ってもらえるのではないかと考えられるため。 たとえば、今年12月7日には、NPO法人富士見市民大学が上野千鶴子氏（社会学者、東京大学名誉教授、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長）を講師として迎え、「富士見市民大学公開講演会（人権講座）」を開催される。その講演会の開会・閉会の挨拶の際に、主催団体関係者からテーマに絡めて生涯学習ガイドについて言及してもらえないか。また、上野氏も関係者の発言をうまく捉えて発言して下さるタイプの方なので（そうだったように思う）、上野氏から「ここ（生涯学習ガイド）にあるように富士見市ではいろいろな関心に応える活動が多く展開されているんですね」などといった類のことに触れてもらえるよう働きかけてみてもらうことも大事ではないか。	渡邊
⑥	「人材バンク」に登録されている人	「わ」が発行されるタイミング	毎号に少しのスペースをもらってコラムを書く！ 書く人は公民館の生涯学習担当で持ち回り。	小栗